

Milan Design Week / Salone del Mobile 2025 - TAU for FIAM ITALIA

イタリア、ミラノで開催されるミラノデザインウィーク 2025 のフィエラ会場にて FIAM ITALIA（フィアムイタリア）から昨年発表された照明器具「TAU」タウが展示されます。昨年のプロトタイプ発表後に製品化され、販売を開始しました。会場にお越しの方は是非お立ち寄りください。

会期：2025年4月8日（火）－13日（日）

時間：9:30－18:30

場所：Fiera Milano Rho HALL 9 STAND C09



TAU for FIAM ITALIA designed by Ryosuke Fukusada

日本の極一部の山岳地帯に、「サンカヨウ」と呼ばれる花が生息しています。
この花は、適度に露にさらされ低温高湿状態になった時のみに、花びらが透明になり、その様子はガラス細工のようにも見えます。
このペンダント照明は、その「サンカヨウ」からインスピレーションを得てデザインされています。

“Tau” の名前の由来

Tau (タウ) は露、純粋なもの、みずみずしさ等を表すドイツの言葉です。その発音の親しみやすさからドイツ語を選びました。「サンカヨウ」が露にさらされ透明になる様が、この照明器具が意図する美しさであり、露に濡れたような、みずみずしい3次元テクスチャーガラス表現を持つプロダクトを象徴する名前です。



透明な花びらを現代的かつシンプルな形状で表現するため、オーガニックなテクスチャーを持つ3枚の板ガラスは、楕円形状の外形を持ちながら3次元的な曲面に加工されており、それらが互いに干渉しないようにわずかな空間を開けて配置されています。

この3枚のガラスが内側の光源を透過することにより、“透明な花”のような様々な自然条件が揃った時にしか見る事の出来ない、神秘的な自然の美しさを表現しています。

ガラス板を自在に3次元形状に曲げる事ができ、かつそこに精密なテクスチャーを入れ込む事ができる、FIAM Italia の持つ板ガラスの加工技術をいかしたペンダントランプです。

<https://www.fiamitalia.it/illuminazione/tau/>

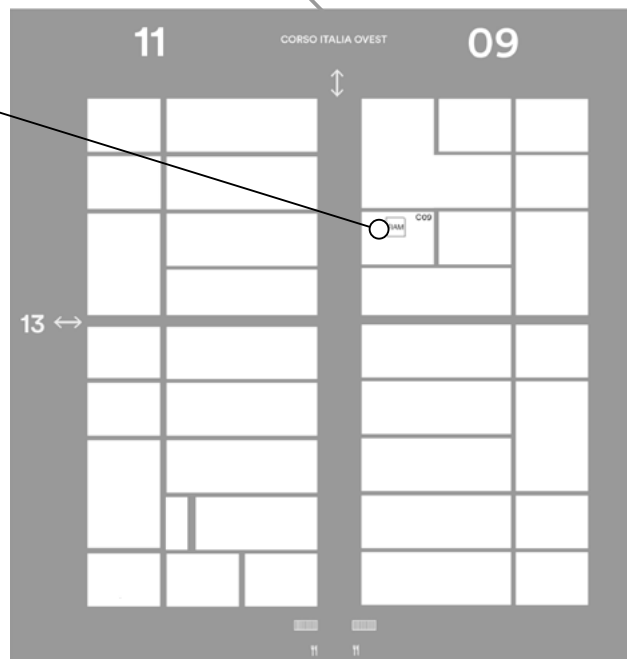
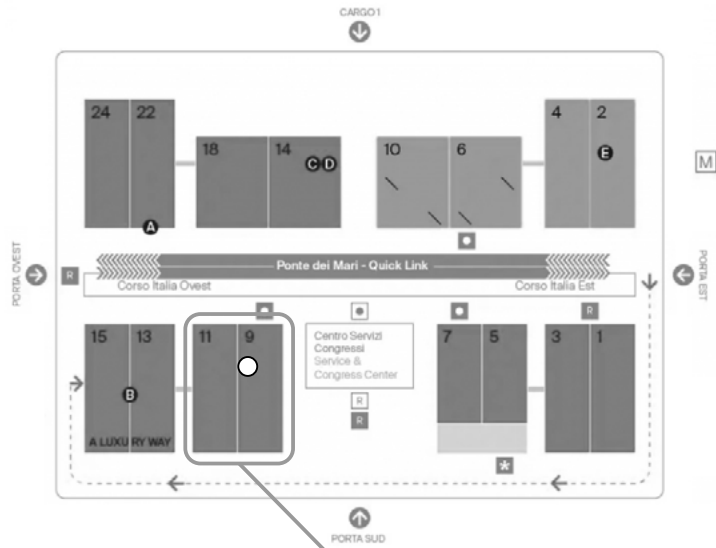


FIAM

Fiam Italia (フィアム・イタリア) は、1973年にガラス職人のヴィットリオ・リヴィがイタリアに設立したガラス家具ブランドです。リヴィは、最初に色付きガラスを製造する Fullet を設立し、その後 Artglass、Curvovetro、Cromoglass、Vellutart などの会社を設立し、それらの会社が合併してできたのがこのフィアムとなります。リヴィのガラスに対する熱い想いと優れたアイデアに共鳴したフィリップ・スタルクやロン・アラッド、エンツォ・マーリなどといった世界の一流デザイナーとコラボレーションし、ベネチアンガラスに代表されるようなイタリアの伝統的なガラスと最先端の加工技術を組み合わせる事で新しいガラスの在り方を形にしています。

<https://www.fiamitalia.it/>

MAP



DESIGNER BIOGRAPHY



Ryosuke Fukusada - 福定良佑

1979年大阪府生まれ。金沢美術工芸大学卒業後、シャープ株式会社を経て2008年ミラノドムスアカデミー(インテリアデザインコース)を修了。同年より、ミラノを拠点とするデザイナーパトリシア・ウルキオラのスタジオで経験を積み、イタリア有名メーカーとの家具、照明、キッチンウェアなどのプロジェクトに携わる。2012年帰国後京都にFUKUSADA STUDIOを設立し、国内の企業をはじめ、イタリアやデンマークの企業とのプロジェクトの実績がある。家具・インテリア製品・家庭雑貨などの幅広いデザインを手掛け、それらのプロダクトは国際的なデザイン賞も多数受賞している。金沢美術工芸大学非常勤講師。

お問合せ先

FUKUSADA STUDIO 株式会社 福定良佑

e-mail : info@ryosukefukusada.com

tel : +81-75-468-1840

web : www.ryosukefukusada.com
